



日本実験動物技術者協会 東海支部会報

2009 年 4 号 (通算 37 号)

目次

1. 開催のご案内

- (1) 第 36 回日本実験動物技術者協会東海支部総会・研究会・・・・・・・・ 2

2. 報告事項

- (1) 平成 21 年度 第 4 回役員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
(2) 『第 13 回技術交流会』・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
参加者からの感想文・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

3. その他

- (1) 年会費について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
(2) メーリングリストの登録について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
(3) HPのおしらせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7



1. 開催のご案内

(1) 第36回日本実験動物技術者協会東海支部総会

日 時 : 平成22年4月17日(土) 13:30~17:00
会 場 : 名古屋大学医学部基礎医学研究棟会議室
(詳細 <http://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical/109/m10913.html>)
参加費 : 会員:500円 非会員:1,500円
懇親会 : 3,000円

【総会議題】 13:30~14:00

- ① 平成21年度事業報告及び決算報告
- ② 平成21年度収支決算報告・備品目録および会計監査報告
- ③ 平成22年度事業計画(案)
- ④ 平成22年度予算(案)
- ⑤ 支部規約の一部改定について
- ⑥ その他

【研究会】 14:10~17:00

『動愛法改正後の技術者の役割と実践』

講演1 「動物福祉」(仮題)

東北大学 末田 輝子先生

講演2 「動物実験に関する相互検証プログラム」(仮題)

京都府立医科大学 喜多 正和先生

フリーディスカッション

「有害化学物質」について(未定)

支部会員の皆様は、お送りしました案内の出欠席の有無等の必要事項を記入後、4月10日(土)までに支部事務局まで必ず返送してください。

非会員の方で参加希望の方はHPより申込用紙をDLし、支部事務局までe-mail、TEL、FAXにてお申込みください。

その他詳細は、支部HPに掲載いたしますのでご覧ください。



2. 報告事項

(1) 平成 21 年度第 4 回支部役員会

日 時：平成 22 年 3 月 6 日（土）14：00～18：00

場 所：名古屋大学医学部基礎研究棟会議室

議 題：1) 支部総会・研究会について

- ・総会議事について

- ・研究会の内容について

(動愛法の改正、有害化学物質、外部評価の実情、資格、ホルムアルデヒドガス燻蒸の現状等)

2) 常任理事会報告

3) その他

- ・役員内規（規約または規程）の見直しについて

- ・会員枠拡大（高校への実技協の PR）に対する検討について

(2) 第 13 回技術交流会(関西支部協賛)

今回は『地震』に関するテーマで、岐阜大学の地震工学のご専門である杉戸先生から、来る東海地震を想定したお話や、関西支部からは大阪大学の岡本先生に阪神淡路大地震における復旧活動の実際についてお話していただいたほか、耐震用品を扱っている業者のトピックスを紹介しました。多方面から 12 名のご参加がありました。

日 時：平成 22 年 1 月 30 日（土） 13：00～17:30

(受付：13：00～13：15)

会 場：岐阜市生涯学習拠点施設 ハートフルスクエア G

特別講演：「迫り来る巨大地震」 ～あなたは準備していますか？～

岐阜大学副学長・岐阜大学地震工学研究室

杉戸 真太教授

講 演：「阪神大震災その教訓」

大阪大学医学部附属動物実験施設 岡本 明先生

トピックス：「分析機器の耐震化」

有限会社キョウエー

加藤 恒雄先生

地震対策紹介：企業および大学の実例

日本エス・エル・シー（株） 須部 剛

藤田保健衛生大学

羽根田 千江美



交流会の様子

【参加者からの感想文】

参加された方から、技術交流会の感想をいただきました。

第13回技術交流会参加報告

日本クレア(株) 中動物事業部
鶴原 真由美

1月30日(土)に第13回技術交流会(関西支部協賛)が岐阜市の生涯学習拠点施設、ハートフルスクエアG 2階で開催されました。今回、私は初めて参加させて頂くことになり、技術交流会とはどういったものなのか恥ずかしながら全く理解しておらず、今回の講演内容を上司から教えられた時も、「地震について」の講演が、果たして実験動物とどういった結びつきがあるのかチンプンカンプンな状況でした。

そのような思いのまま当日を迎え、岐阜大学地震工学研究室 杉戸真太先生の「迫りくる巨大地震」についての講演から聴講させて頂きました。まずは杉戸先生の体験談で、昔海外に住んでいた時に遭遇した巨大地震で、先生の奥様が巨大地震のあった時は、自分自身を守るのが精いっぱいであり、子供さんを守る事が出来ず身動きが全くとれなかった事や、家族との連絡が全く取れなかった話から始まり、次に東海地方の巨大地震のメカニズムについての説明では、東海地方の巨大地震は2011年にあってもおかしくないと言われ・・・元々東海地方の巨大地震に関してはニュース等で以前から報じられていましたが、実際に専門の先生からお話を受けるとドキッとしました。また郵便番号による震度情報検索システムをいう素晴らしいものをネットで調べる事ができ、実際講演中に先生が「どなたか調べてみたい地域はありませんか？」と・・・仰られた時、郵便番号をド忘れし郵便番号を思い出そうと必死になっていた私の横で当日一緒に参加した弊社の上司が手を挙げド忘れした郵便番号をスラスラ・・・と(流石です)。調べて頂いた結果その地域には、液状化現象は問題はないであろうと仰られ一安心しました。

次に大阪大学医学部附属実験施設の岡本明先生の「阪神大震災その教訓」の

講演で岡本先生が阪神大震災の中、実験動物施設でほぼ動物が無事であったが、自宅の倒壊・損傷による被災や交通機関・道路等の寸断で職員との連絡がとれなかった事などをお話になられ、今後巨大地震があった時にどうすればよいのか対処方法を色々と聴講させて頂き、勉強になりました。

次に有限会社キョウエーの「分析機器の耐震化」グッズの紹介を受けキョウエーの商品と他の業者が取り扱っている粘着性ジェルの比較映像をみました。この会社を取り扱っている粘着性ジェルは凄いと実感しました。

次に日本エスエルシー(株)の須部さんのお話を聴講し、私の中でまだまだ色々と勉強しなければなあーと痛感しました。

最後に、藤田保健衛生大学の羽根田先生から地震対策のお話があり、羽根田先生の施設では、バールやハンマー等がはいった工具が設置してあり、これは私の働いている現場にも準備しておくべきだと思いました。

今回の技術交流会は、あまり内容をつかめてないまま参加しましたが、地震についての一つひとつの講演内容が興味深く、とても勉強になりました。

最後に心残りなのは、殆ど今回の技術交流会で交流する間もなく横浜まで帰る為に懇親会を19時過ぎ去ったことです。(涙)

日本実験動物技術者協会 東海支部主催 第13回技術交流会に参加して

千寿製薬株式会社 コーベクリエイティブセンター
駒田 孝文

この度、日本実験動物技術者協会、東海支部主催の第13回技術交流会に参加する機会を頂きました。関西支部の幹事として、また本交流会のテーマが『震災』に関するものであり、私の勤務地である神戸市にとっては忘れることの出来ない、あの1995年1月17日に発生した「阪神・淡路大震災」から15年を迎えるにつれ、街頭や報道でも連日のように取りざたされている時期に案内があり、今一度、施設内での防災意識、耐震対策について見直す機会だと思い、参加させて頂きました。岐阜大学副学長であり、地震の専門家である杉戸先生の米国での実体験を踏まえた「迫り来る巨大地震」と題した講演では、本当に数年先には起こるであろうと思われる過去の発生時期からの予測と、震度6~7の揺れが1~2分は続くという恐ろしい解説に始まり、講演の半分以上が恐怖であり不安を占める内容でした。ですが、最後には東海地区ではありますが、自分の住んでいる地域が受ける震度の予測診断できるシステムの紹介や緊急速報の通知手段の発達、災害時の備え方などもあり、少し安心できました。

また大阪大学の岡本先生の「阪神・淡路大震災」発生時の大阪大学内動物実験施設での被災状況や復旧活動、飼育動物の状態、そこから学んだ耐震対策など共感する部分が多い講演でした。同じ阪神地区ではありますが、車で1時間ほどの距離であってもライフラインの復旧や地域によって復興スピードの違いを感じつつ、当時の経験と重なり複雑な心境でした。

会の後半では分析機器の補強対策や動物生産施設、大学施設内など様々な環

境での震災に対する取り組みなども紹介され、環境や手法の違いについて大変、参考になりました。

今の職場で震災を経験し、「あの日・あの時」を振り返れる人も随分と少なくなり、最近入社してくる人たちは、当時子供だったりするので徐々に風化していくのが現実です。今回、参加して「忘れたいけど忘れてはいけない」、「経験した者が伝えて行かなければならない」ということを、改めて自分に言い聞かせる良い機会を与えて下さいました。何事においても杉戸先生が言われた『事前の一策は事後の百策に勝る』の言葉を大事にしていきたいと思います。最後になりましたが、本交流会を御準備していただきました、講師の先生方、東海支部の小木曾支部長を初めとする役員方々に厚く御礼申し上げます。

「第13回技術交流会」に参加して

大鵬薬品工業株式会社 徳島研究センター
杉本 繁夫

この度、東海支部主催の技術交流会に参加する機会をいただきありがとうございました。

私は、動物実験技術者として業務するとともに動物施設の施設管理も担当しております。今回参加し、講師の皆様の施設でのラック・ケージにおける動物逃亡防止措置、職員の避難経路確保のための様々な対策等、お聴きした内容は、私共の施設に大変参考になるものでした。皆様の東海・東南海地震に対する意識の高さを感じました。徳島では、南海地震が起こるといわれていますがソフト面、ハード面においての対応は充分とはいえず、これを機に社内でも防災教育の実施、ハード面での早急な対策を考えなければならないと痛感しました。また、技術交流会に参加された方々と懇談でき有意義な時間が過ごせたものと思っております。最後になりましたが、講師の皆様、小木曾支部長はじめ東海支部役員の皆様に感謝申し上げます。



懇親会の様子

3. その他

(1) 年会費について

本協会は会員の皆様の会費により運営されています。本年度の会費が未納の方は至急お振込みをお願いいたします。

年会費：6,000 円

振込先 名 称 : 日本実験動物技術者協会
口 座 : 00130 -9 -102291
取扱機関 : 落合郵便局

(2) メーリングリスト登録について

東海支部では従来よりPDF会員と称し、ご希望があった会員の皆様のメールアドレスをメーリングリスト（ML）に登録し、会報の発信等を行ってきました。最近では多方面からの情報の配信の必要性もあり、今後は会報のみならずさまざまな情報を発信していく予定です。郵送による情報の提供よりも早く、またML会員だけに送られる情報もありますので、ぜひMLに登録していただきますようご協力をお願いします。なお、お知らせいただきました個人情報（メールアドレス等）はMLのみに使用し、他には一切使用いたしません。

*ML登録希望の方は、東海支部事務局まで e-mail にてお申し込み下さい。

事務局 e-mail mailtokai@jaeat-tokai.org

(3) HPのお知らせ

東海支部では、支部の活動やさまざまな情報をより早くお知らせするため、支部HPを活用しております。随時更新していきますので、ぜひ皆様もご覧ください。

また、ご意見、ご希望がありましたら東海支部事務局（担当：羽根田）までお知らせください。

HPのURLは、HP：<http://www.jaeat-tokai.org> です。



Japanese Association for Experimental Animal Technologists TOUKAI branch

2010 年 3 月 No. 37

- <発行者> 支部長 小木曾 昇
<発行所> 日本実験動物技術者協会東海支部
<編集> 事務局広報 羽根田 千江美
<事務局> 事務局長 前田 典彦

〒484-8506 愛知県犬山市大字犬山字官林 41 番地
国立大学法人 京都大学霊長類研究所
人類進化モデル研究センター内

TEL 0568-63-0607 FAX 0568-62-9559

e-mail: mailtokai@jaeat-tokai.org

HP: <http://www.jaeat-tokai.org>